

ならはみらい

震災から10年。それぞれの想いをのせてイベントが開催されました。

2021年3月11日で震災から10年が経ちました。みんなの交流館ならはCANvasでは、作品展示を中心に約1カ月に及ぶイベント「3.11CANvasに描く!〜未来へつなぐ〜」が、3月7日(日)には「復興感謝祭2021 檜葉ならでは祭」が開催。沢山の方がそれぞれの想いをのせて新たな10年がスタートしました。



イベントモニュメント「巨大キャンバス制作」



町民の皆さんによる作品展示



ひとりひとりの想いを灯すキャンドルナイト



檜葉町の記憶を写真展に

“ならはみらい”の最新情報を季節ごとにお届けします!

- P.2 これまでの“まちづくり”を写真で振り返ります。
- P.3 ならは応援団・ならはふるさと案内人活動報告 最新情報をpick up!
- P.4 紹介コーナー:企業を知ろう!
東京電力HD(株)福島第二原子力発電所
ならはみらいスタッフが紹介!イマドキ“ならは事情”
- P.5 ディープなひと。を紹介♪:長岡造形大学 後藤采納さん
ならはみらい新規事業を紹介!
- P.6 表紙記事をふかぼりっ! 等

一般社団法人ならはみらい

2014年6月末にまちづくり会社として設立。
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなるよう様々な事業に取り組んでいます。

震災10年。“まちづくり”を振り返る

2021年3月11日。震災から10年が経ちました。私たち、ならはみらいは設立当初から町の状況に合わせ、様々な事業に取り組んできました。これまで取り組んできた事業を少しでも写真で振り返ります。

2014年



「これから戻る檜葉町はどうなっているのか…。」
まちめぐりバスツアーの実施。

2015年



「ふるさと檜葉のために“なにかしたい!”」
町民が主体となり活動する“なにかし隊”が発足。

2016年



生きがいづくりのためスタートした藍染め活動。
初収穫で町民参加品を制作。

2017年



町内団体の横断的な活性化を図るため
檜葉町活性化協議会を立ち上げ。

2018年



笑ふるタウン内、商業施設・交流施設がオープンし
管理運営業務を受託。

2019年



双葉郡内8町村“まちづくり会社”等の連携のため
“ふたばエイト(双葉郡まちづくり協議会)”を設立。

かかしチーム幕を閉じる



避難指示解除直後「子ども・人が少なくて寂しい」という声から、2016年になにかし隊の隊員が始めたかかし製作。居住者が徐々に増え、賑わいが戻りつつあるということで『3.11CANvasを描く!』の展示をもって、かかしチームの活動を終了しました。

かかしで有名な徳島県三好市でメンバーが製作法を学んでから、町内施設への設置やイベントでの展示、かかしコンクール金賞受賞など数多くの思い出を残してくれました。一旦の役割を終えたかかし達、そして、かかしチームの皆さま、ありがとうございました!



町外からのチカラで町を元気に!!

ならは応援団 活動報告♪

ならは応援団員の皆さんによる、今年度の活動をPickupしてご紹介します♪

今回は熊本市内で魚屋を営む森広隆さんの活動をご紹介します! 森さんは、熊本市内で魚屋を営んでおり、地元の幼稚園・保育園に地元で水揚げされた魚を提供するなど、地元の魚を地元の方々に食べてもらう取り組みを行っています。そんな森さんの檣葉との出会いは、熊本地震から1年後に熊本県内で開かれた震災追悼イベントでした。そこに参加していた檣葉町民との出会いをきっかけに交流が深まり、2年前にはお子さんや仲間を連れて檣葉町にも来ていただきました。

そして今回は、檣葉の子ども達にも熊本の魚を食べてもらいたい!と天然鯛やアオサをこども園に送っていただき、ひな祭りの日に潮汁として、給食で提供しました。新鮮な鯛と香り豊かなアオサの潮汁を前に、子ども達も箸が進みました!ひととのつながりがきっかけで生まれた今回の活動。これからも、つながりの中で様々な取り組みが生れてくることに期待です!



もり ひろたか
森 広隆さん

熊本県熊本市在住/市内で魚屋を営む



檣葉町に想いを持って下さる
"ひと"のつながりを大切に。



応援団員数

(令和3年3月23日時点)

団体登録

20 団体

個人登録

266 名



Pick up

ふるさと納税NEW返礼品!

檣葉町木戸で生産する「木戸の交米」を原材料として米麦酒に取り入れた、オリジナルのク



ラフトビール「キドラベル」です! (出品者: 合同会社りきっど) 町の新たな米加工品のひとつとして、可能性を拓けています。ビールは返礼品として初のラインナップ! コロナ禍で、自宅飲みにもピッタリです。ぜひ手に取ってみてください!

新商品

管理運営業務を継続受託!

継続中

「笑ふるタウンならは」敷地内にある商業施設・交流施設の管理運営業務を昨年度までに引き続き、当法人で受託することになりました! 誰もがまた来たいと思ってもらえる施設を目指して、これまで培った経験を活かし、今後もこの場所から町の賑わいと笑顔を創出するため精進します!



NARAHA

震災と復興の歩み、そして今を伝える
ならはふるさと案内人

今年はよりパワーアップ!



昨年度はコロナ禍の影響を受けたこともあり、1団体の語り部実施と8件のキャンセルという実績でした。今年度は浜街道や甘藷倉庫を入れた新たなガイドコースなど、バージョンアップを図り、参加者の気づきや学びに、より深化したものにしていきます!



楡葉町新たなコミュニティづくり懇話会

取組 町内での充実した生活環境を整えるべく、下記の4つの柱を軸に地元企業・進出企業・町民有識者で会議を重ねています。

①新コミュニティ形成への深化

②地域(住民)が企業を知る

③企業が地域(住民)を知る

④お互いの共通グランドを作る

【業務内容】福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止事業を進めてまい

ります。

【地域との関わり】楡葉町は所員の3分の1が居住する私たちの生活拠点です。また、町内のサツマイモ栽培作業や各種イベントのお手伝い、地場産品の所内販売会、清掃ならびに花壇の植栽活動にも積極的に参加させていただいております。

【PR】行政区集会等、お声がけいただければ福島第二原子力発電所の状況について、ご説明させていただきます。また、発電所全般や広報誌「福島第二原子力発電所からのお知らせ」に関するご意見・ご要望等、みなさまの声をお聞かせください。



広報部地域広報G 大浦さん



◀地域のお手伝いの様子

企業を知ろう！

まずはお互いを知るところから始めよう！
「②地域(住民)が企業を知る」にスポットをあて、町内団体を紹介します。

No.5

東京電力HD(株) 福島第二原子力発電所

(楡葉町大字波倉字小浜作12)



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp(受信専用)。

これが イマドキ！

“ならは事情”

・ならはみらいスタッフが紹介！

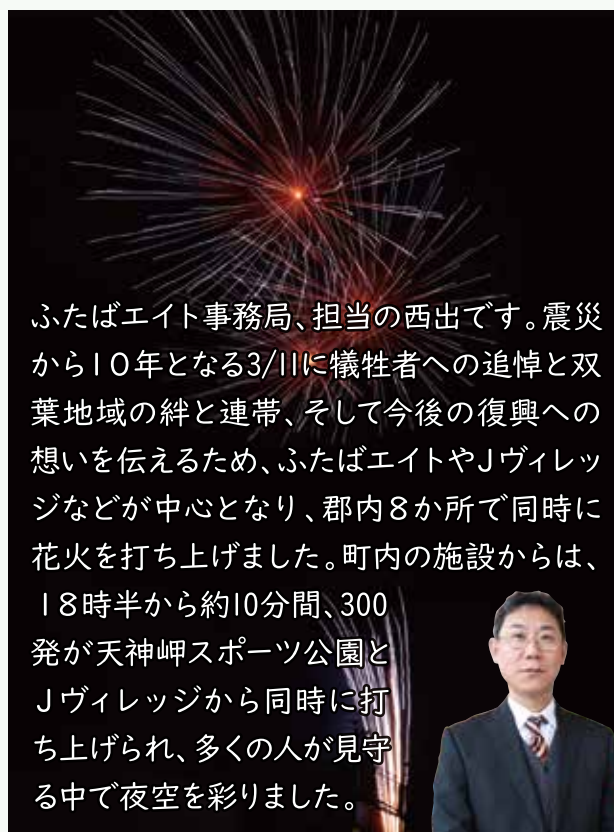
ふるさと納税実績報告！

ふるさと納税運営事業担当の青山です。2020年度は、返礼品ラインナップ見直しや追加、リーフレット配置、ウェブ広告などの施策を中心に実施！感染症対策による大きな社会変革もあり厳しい結果となってしまいましたが、返礼品では2019年度に引き続き、お肉、お酒、お米、パンが人気上位！今後も世の中の動向を注視しながら、新規商品開発やプロモーション実施を考えていきます。



2020年度：490件14,029,000円※2021年3月15日時点
2019年度：655件22,353,516円

3.11に双葉郡内8か所で追悼花火



ふたばエイト事務局、担当の西出です。震災から10年となる3/11に犠牲者への追悼と双葉地域の絆と連帯、そして今後の復興への想いを伝えるため、ふたばエイトやJヴィレッジなどが中心となり、郡内8か所で同時に花火を打ち上げました。町内の施設からは、18時半から約10分間、300発が天神岬スポーツ公園とJヴィレッジから同時に打ち上げられ、多くの人が見守る中で夜空を彩りました。



つながりの深い“ひと”をご紹介します! ディープなひと。

檜葉町との出会いは、大学1年生の冬。ならはみらいさんへインターンに来たことが始まりです。震災当時、私は小学5年生で、これまで東北との縁は全くありませんでした。しかし、私自身、災害から復興への過程などに興味があり、高校ではユネスコ部に所属。地元地域に入り、お祭のお手伝いや、高齢者・同世代の障害を持った方との交流などの活動を重ね、いずれ東北へ訪れたいという想いがインターンに繋がりました。



インターン活動の様子

初めて訪れた檜葉町は自分が思っていたよりも復興が進んでいて、大学では地域との日常的な関わりがあまりなく、中満住宅の皆さんと交

檜葉のおすすめ!

交流館2階の和室がお気に入りです♪

長岡造形大学 建築
環境デザイン学科 4年
(出身地: 大分県)
ごとう さな
後藤 采納さん



流を深め「とても人があたたかい町」だという印象を受けました。1カ月間活動し、その後も定期的に来町。消極的な性格も地元の友達に「変わったね!」と言われるくらい、ここでの経験が私を変えてくれました。将来はその地域に入り、まちの人たちと関わる仕事がしたいと考えています。交流館のように地域の人たちと作り上げる建築物を作ることが目標です。これまで繋がった関係を終わりにしたくないと思い、3月からは1年間檜葉町に移住し卒業研究をスタートさせました。まちづくりと建築を掛け合わせた内容を検討中! 1年間宜しくお願いします!

ならはみらい
こんなことに
チャレンジ
しています!

新規事業紹介

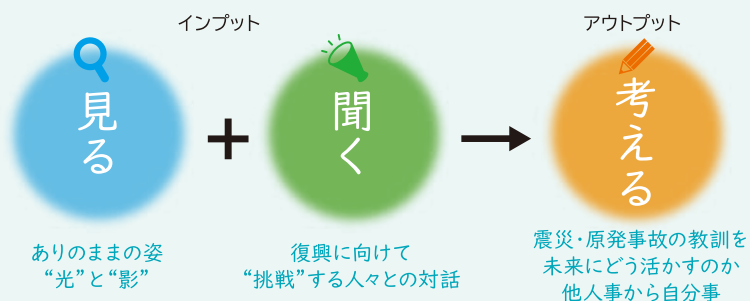
“ホープツーリズム フィールドパートナー業務”

ならはみらいでは令和2年度から、福島県及び福島県観光物産交流協会が運営している「福島県ホープツーリズム」において、フィールドパートナー(以下FP)という役割を担っています。FPは、特に中高生の教育旅行において、ツアーの全行程に帯同しながら状況に応じた情報伝達、多面的な視点の補足、自分事化に向けての支援等、ツアー全体をコーディネートしています。ならはみらいの新しいチャレンジをご紹介します。

ホープツーリズムとは福島でしか学べない

ふくしまオンリーワンの教育プログラムです

「各分野で復興に向け挑戦する福島の人々(ヒューマン)との対話」と「福島のありのままの姿(光と影)」に焦点を当てた学びのツアー。震災・原発事故直後から現在に至るまでの復興の歩みや復興に向け奮闘を続ける人々の生の声を感じてもらい、ツアーを通じて福島の現状について理解を深めることはもちろん、震災・原発事故の教訓を踏まえ、これからの日本・地域の将来を考えてもらうことを目的としています。



ホープツーリズムを詳しく知りたい方は <https://www.hopetourism.jp/> まで

ツアー行程例

1日目

高速道PAでバスに合流
車内でガイダンス及び双葉郡内の概要説明

浪江町・大平山霊園にてフィールドワーク
地元住民との対話

浪江まちづくりつたえ隊による紙芝居

避難所運営シミュレーション
「さすけなぶる」ワークショップ

2日目

東日本大震災・原子力災害伝承館 見学

檜葉町・笑ふるタウンならはにてフィールドワーク
地域住民との対話

ならはCANvasにてまとめの
ワークショップ



Fukabori! イベントモニュメント“巨大キャンバス”完成!

2月中旬から交流館で開催された「3.IICANvas 〜未来へつなぐ〜」のイベントに携わった皆さんの手形を使ったモニュメントを制作しました。震災から10年という節目の年の“今”を遺すべく作られたこの“巨大キャンバス”。上段は“まちの宝”でもある、子どもたち、中段・下段はその子どもたちを支える檜葉町に関わる大人たちの手形を描き、檜葉の“未来”を支える構図となっています。

時間の経過や成長、当時の想いなど、様々な想いが振り返れるものとなるよう、節目節目に展示させていただきます。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



News

募集 藍染め会員募集

檜葉の地で育てた藍の葉を使って藍染めをしたり、新しい技法を取り入れて制作の幅を広げてます。地域の子どもたちとの交流もあり楽しめる活動となっております。はじめての方もお気軽にご参加いただけます。

毎月、第1・3木曜日公民館分館で活動中。



ご案内 空き家・空き地バンクに関するご案内

生活再建コールセンターの事業終了に伴い、空き家空き地バンクのお問合せ先が変更となりました。2021年4月より、下記、番号までお問合せ下さい。

お問合せ先
一般社団法人 ならはみらい TEL.0240-23-6771

MIRAI Now ならはみらいの動き

1月 9日 ● 新春イベント大抽選会

※その他予定していた新春イベントは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

2月 13日 ● 3.IICANvasに描く!〜未来へつなぐ〜開催(3/14(日)まで)

@みんなの交流館ならはCANvas

15日 ● ふたばエイト会議@富岡

3月 7日 ● 復興感謝祭2021 檜葉ならでは祭 開催

@檜葉町コミュニティセンター

&みんなの交流館ならはCANvas

11日 ● 追悼花火inNARAH

※ふたばエイト取り組み

献花@みんなの交流館ならCANvas

12日 ● SOTE3.IIシンポジウム参加

毎月実施

檜葉町活性化協議会会議(第1水曜日)
ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

公式ホームページはこちら!



一般社団法人
ならはみらい



みんなの交流館
ならはCANvas



ここなら笑店街

その他、Facebook・
Instagramもcheck!

発行者・問い合わせ先

一般社団法人ならはみらい

住所: 〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内

電話: 0240-23-6771 FAX: 0240-23-6772

Mail: info@narahamirai.com

Web: https://narahamirai.com

